



2011年スタートの新規格NAレース 安全&低コストを両立する 車両規則がいよいよ決定!

舞台となる東北地方だけでなく、関東や関西でも話題沸騰中の新規格NAレース。イベント会場で質問攻めにあうことも多く、なかには「既にベース車を買っちゃいました!」なんて情報も……。仙台ハイランドとスポーツランドSUGOを転戦、ラジアルタイヤ限定、エアコン&ナンバー付き車両という概要はvo.6とvol.7で報告したとおりだが、今回はみんながイチバン気になる車両規定の発表だ! ⑧FM=フレッシュマン/EX=エキスパート

参加する方々へ
お願い

来年スタートする新規格NAレースは、少しでも多くの人にモータースポーツの楽しさを知ってもらえ、低コストで参戦できることが目標です。Kカーに限らず過去に行なわれた草レースでは、徐々にチューニングがエスカレートし、大半の参加者が付いて行けなくなり、衰退したケースが多くあります。その轍を踏まないよう、当面の2クラスは改造範囲をかなり制限しました。また初心者の方でも分かりやすいように、レギュレーションはあえて簡潔に書いています。中～上級の方、車両を製作するプロショップの方は、このコンセプトを理解していただき、くれぐれも「レギュレーションに書いていない＝やってもOKだ」と解釈したり、一般の参加者がマネできない車両を持ち込んだりしないようお願いいたします。要望が多ければさらなる上級者クラスなりショップクラスを設けるので、遠慮なくご意見をお送り下さい。参加クラスに関しては、例えば「上級者があえて改造範囲の狭いクルマを作りフレッシュマンに出る」なんてことがないよう、イベント継続のため「大人の対応」をして頂ければと思います。モータースポーツを底辺から盛り上げるには、みなさんの協力が必要不可欠なんです!!

基本 コンセプト



まずはレースの概要を改めて紹介

1 ナンバー付き 車両に限定

維持費の安いKカーのメリットを、最大限に活用。公式戦でいうところの、「Nゼロ」って区分です。レースや練習のたび積載車を借りるより、よっぽど安上がりなはずでしょ?

2 タイヤは ラジアルに限定

Sタイヤは摩耗が早く価格も割高、さらに路面コンディションによりコンパウンドを変えなきゃいけません。そこで全クラスともラジアルタイヤ限定とし、参戦費用を抑えます。

3 エアコンを 外すのは禁止

せっかくのナンバー付き、おまけに燃費もイイ新規格NAなんだから、街乗りにも使ってもらいたい、ということは、快適性を損なうエアコン外しは当然ながら禁止しちゃいます。

4 当面は 2クラスで開催

2011年はフレッシュマン/エキスパートの2クラスを設定し、それぞれ改造範囲で差別化します。もしも要望が多ければ、将来的に改造範囲をさらに広げたクラスを増やすかも?

1-1 エンジン本体

純正部品の旋盤加工/溶接/研磨など機械加工は禁止。ピストンは純正スタンダードサイズに限り使用でき、排気量アップは認めません。カムシャフトなど部品の変更も同様です。またエンジンを載せ換える場合は、車検証上で同一型式(構造変更が必要ない場合)なら気筒数や年式に関係なく認められます。

1-2 フライホイール

FM…加工や変更は禁止します。
EX…加工や変更を許可します。

1-3 エンジンマウント

エンジンマウントは無加工で交換できる製品に限り変更OKです。ただしエンジンマウント位置の変更などはすべて認められません。

1-4 ラジエーター関連

ラジエーター、サーモスタット、ラジエーターキャップ、ラジエーターホースの変更は認めます。水温計センサーを取り付けるための、ラジエーターホースへの加工もOKです。ラジエーターファンを強制的に作動させる、ON/OFFスイッチの装着も問題ありません。

1-5 オイルクーラー関連

オイルクーラーの装着は認めますが、フィルターを移動する場合は安全な位置でなければいけません。油温計や油圧計のセンサーを取り付ける加工、オイルパンの容量アップやパッパ加工も安全であれば認められます。

1-6 バッテリー

バッテリー位置の変更は認めますが、重量に耐えうる台またはホルダーを使い、確実に固定して下さい。室内に移動する場合は、ドライバッテリーを除き金属板で隔壁しなければなりません。容量および取り付けブラケットの変更も可能ですが、ボディにアースされていない側の端子(+)は短絡を避けるため、確実な方法で絶縁することを忘れずに。

1-7 ECU

FM…燃調コントローラーなどサブコンの追加装着は許されますが、純正ECUの書き換えやフルコンの装着は認められません。EX…フルコンを含めて変更が認められます。

1-8 点火系

ハイテンションコードやプラグの変更、またアーシングなど点火系パーツの装着は認められます。同時点火への変更も可とします。

エンジン系

基本ノーマルだが
吸排気はお好みで



1-9 燃料系

燃料タンクの加工、コレクタータンクの装着はすべて認められません。インジェクター容量や燃料ポンプ吐出量の変更も不可です。

1-10 吸気系

エアクリナーボックスやパイピングの変更が認められます。エアクリナー本体は剥き出し、純正交換のどちらでも構いません。耐熱パテや導風板の装着もOKです。

1-11 排気系

排ガスや音量など、保安基準に適合する範囲内であれば、マフラーやエキマニを自由に変更できます。触媒は必ず装着して下さい。

ブレーキ と 足まわり



最低地上高は9cmを 確保すること

2-1 ブッシュ類

強化品への変更が認められます。

2-2 スプリング

自由長やレートの変更は自由ですが、レース後に実施する公道走行チェックの際は、9cm以上の最低地上高が確保されており、縦方向に遊びがない状態でなければなりません。

2-3 ダンパー

倒立式や別タンク式を含めて、変更が認められます。材質は自由で、減衰力を室内から調整するコントローラーも使用できます。

2-4 サスペンションアームなど

調整式サスペンションアームなどの使用は認められますが、取り付け位置の変更や加工はすべて不可とします。また、調整式のピロアッパーマウントも使用できます。

2-5 制動装置

ボルトオンで装着可能なブレーキパッド/ローター/ホース/キャリパー/マスターシリンダーなどの変更が許されます。またバックプレートの取り外しは認められ、マスターバックの取り外しは認められません。

